

## 愛知県震度観測・調査報告書－第30報－の概要

### 1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、平成22年1月～12月に発生した地震と震度に関する調査結果をまとめたもので、防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的としている。昭和56年より1冊／年で発行しており、本書で30冊目となる。また、トピックスとして、最近の地震研究などに関する話題に加え、平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震についての解説を掲載した。

### 2 愛知県震度観測・調査報告書－第30報－の概要

#### (1) トピックス

##### ア 三連動地震

東海地震、東南海地震、南海地震についての発生の長期予測や、揺れの予測について改めて解説するとともに、将来、より高精度の地震発生予測につながると考えられる、プレート境界面で起こるスロースリップと低周波地震の研究についても解説している。

##### イ 地震の発生と水

近年、地殻やマントル内に存在する水をはじめとした流体が断層の摩擦強度を低下させ、地震を誘発する役割を担うことがわかってきた。ここでは、2009年にイタリア・ラクイラで発生した地震を例に、地震の発生に果たす「水」の役割について解説している。

##### ウ 2011年東北地方太平洋沖地震

2011年3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生した。ここでは、発生から2週間後時点での情報を元に、津波やGPS観測による地殻変動、前震・余震・誘発地震等について解説するとともに、今後の課題について述べている。

#### (2) 震度観測資料

##### ア 愛知県における地震

平成22年に、県内のいずれかの市町村で、震度1以上が観測された地震の発生は21回であり、震度4以上が観測された地震の発生はなかった。

##### イ 国内の主要な地震

平成22年に、国内で、被害を伴った地震の発生は10回であり、死者を伴う地震の発生はなかった。

##### ウ 世界の地震

平成22年に、世界で、人的被害を伴った地震の発生は38回であり、死者10名以上の地震の発生は7回であった。

### 3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県民が自由に閲覧できるように公立図書館、県民生活プラザ等に配付し、地震についての理解を深めてもらう。